

1979年（昭和54年）に製造が開始されたキハ40形。この車両はかつて、青森県と秋田県の沿岸地域を結ぶ「五能線」で走行していた車両です。昨年3月のダイヤ改正で、五能線がハイブリット気動車に置き換わり用途廃車になりました。この度、ご縁があつて北条鉄道で走ることになり、鉄道ファンから大きな注目を集めています。

車両購入・改造費用はクラウドファンディングで募り、当初の目標である300万円を大きく超える約1300万円が集まり、皆さんの思いがあつた資金を活用しました。

名称のキハのキは気動車のキで、ハは普通車（3等車）のハです。イロハの順でイ（1等車）・ロ（グリーン車）・ハということになります。

40はシリーズ名称で、535は500番台という寒地仕様の、製造番号が35という意味になります。雪に強い台車をはいているのが特徴です。

同型の車両は、JR加古川線では平成16年まで使用されましたが、北条鉄道の前身の国鉄北条線では運用されたことはないということです。現在でも近いところでは、播但線の寺前駅以北で運用されています。JR東海JR東日本では姿を消しましたが、北海道から九州まで、また海外でもミャンマーで活躍し、今後はベトナムでも運行される予定です。

ようこそ北条鉄道へ

ファン待望 人気の青・白カラー登場 北条鉄道仕様に改造、13日にデビュー



DATA

製造開始年	1979年（昭和54年）
構成	1両
運行区間	北条町駅～粟生駅間（13.6km）
速度	時速95km
駅数	8
馬力	300馬力
構成定員	124人
全長	20.8m
幅	2.98m
重量	37.9トン
乗り心地	かなり良い

大きさだけ

教えて！かさいさん！
キハ40の大きさは？
全長はフラワに比べて約3mも長いんだよ。下を見て見て！

徹底比較！
してみました



フラワ 2000-3



18m



キハ40



20.8m



12/11 密着 2021 キハ輸送に迫る



2



1



3



4

1 トレーラーに牽引され播磨横田駅に到着 2 クレーンで吊り上げて車体を線路上に載せる 3 フラワとともに北条町駅に出発 4 北条町駅車庫に到着

2021年9月に秋田港を出発しフェリーで輸送。敦賀港に到着後しばらく停留。そして、敦賀港から南港に運ばれ、12月11日AM2:00に播磨横田駅に姿を見せました。